

平成27年度公共事業再評価諮問地区「継続」理由書等

(課名：道路課)

<p>事業名 (路河川等名)</p>	<p>道路整備交付金事業(防災・安全社会資本整備交付金) 国道204号(湊工区)</p>
<p>継続理由</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本路線は、唐津市と伊万里市を結び物流や産業、観光を支援する重要な路線であり、道路沿線には商業施設や観光施設等が建ち並び、大型車両のみならず年間を通じ交通量多い路線である。 ・ 事業箇所周辺には、小中学校や保育園、公共施設が隣接し、通学路にも指定されているが、道路幅員が狭小で歩道も無いため、地元より整備を要望されている。 ・ 特に、志坂鼻(カーブ区間)については、幅員狭小に加え視距も悪く、路肩を通行する歩行者、自転車の接触事故が危惧されている。 また、平成27年8月に地すべりが発生した際には、現道を通行規制したことにより、近くに一般車両の迂回路が無く、バスの運休など地元の生活や経済活動に大きな影響を与えた。 このため、安全に通行できる道路の整備が強く望まれている。 ・ 自動車交通量については、西九州自動車道や国道204号唐房バイパスの整備により、呼子方面への交通の利便性が向上し、イカの活きづくりや朝市を目的とした観光、イカをはじめとした特産品の出荷等更なる交通量の増加が予想される。 ・ 事業進捗状況としては、平成26年度末時点で全体計画1,730mのうち約1,300mを完了させており、歩行者、自転車の交通安全が図られている。 ・ 残る約400m区間(起点部及び志坂鼻)についても地元より早期整備を要望されており、歩行者、自転車の交通安全と自動車交通の円滑化を図るため、引き続き事業を継続したい。
<p>B/Cの算出方法</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通安全事業(歩道整備)であるためB/Cは算出しない。
<p>備考</p>	

平成 27 年度再評価対象事業 (事業採択後、一定期間 (5~10年) が経過した時点で継続中の事業又は未着工の事業)

番号	事業名 (路・河川名等)	事業目的	事業概要	事業の進捗状況	事業を巡る社会経済情勢等の変化	費用対効果の要因の変化	コスト削減や代替案等の可能性	再評価理由	対応方針 (事業案)	備考
	道路整備交付金事業 (防災・安全社会資本整備交付金) 国道204号(湊工区) 事業主体：県 事業地：唐津市湊町	・本路線は、唐津市と伊万里市を結び物流や産業、観光を支援する重要な路線であり、道路沿線には商業施設や観光施設等が建ち並び、大型車両のみならず年間を通じ交通量多い路線である。 ・事業箇所周辺には、小中学校や保育園、公共施設が隣接し、通学路にも指定されているが、道路幅員が狭小で歩道も無いため、地元より整備を要望されている。 ・特に、志坂鼻 (カーブ区間) については、幅員狭小に加え視距も悪く、路肩を通行する歩行者、自転車の接触事故が危惧されている。 また、平成27年8月に地すべりが発生した際には、現道を通行規制したことにより、近くに一般車両の迂回路が無く、バスの運休など地元の生活や経済活動に大きな影響を与えた。 このため、安全に通行できる道路の整備が強く望まれている。 ・以上のことから、児童生徒や地域住民の安全と自動車交通の円滑化を図るものである。 【その他】 ・唐津市通学路交通安全プログラムにおいて、対策必要箇所に位置付けられており、関係機関が連携して、児童等が安全に通学できるように通学路の安全確保を図って行くこととしている。	・全体事業費：46.0億円 ・工期：H18～H30 ・事業内容 延長 L=1,730m 幅員 W=13.0(6.5)m 改良工 L=1,730m 掘削工 V=121,000m ³ 舗装工 L=1,730m 測定 1式 用地補償 1式	・H26末進捗率：約75% (事業費ベース) (年平均進捗率：8%) ・用地補償契約は約98%完了	・西九州自動車道や国道204号唐房バイパスの整備により、呼子方面への交通の利便性が向上し、イカの活きづくりや朝市を目的とした観光、イカをはじめとした特産品の出荷等更なる交通量の増加が予想される。	・交通安全事業 (歩道整備) であるためB/Cは算出しない。	(コスト削減) ・再生資源の利用促進を図っている。 ・工事で発生する残土を盛土等に流用する。 (代替案の検討) ・特になし。	・事業採択後10年経過のため再評価	継続 (理由) ・平成26年度末時点で全体計画1,730mのうち約1,300mを完了させており、歩行者・自転車の交通安全が図られている。 ・残る約400m区間(起点部及び志坂鼻)についても地元より早期整備を要望されており、歩行者、自転車の交通安全と自動車交通の円滑化を図るため、引き続き事業を継続したい。	

